

地方創生推進交付金の効果検証【外部評価】

事業効果(自己評価)の区分(①非常に効果的であった、②相当程度効果的であった、③効果があった、④効果がなかった)

外部有識者の評価の区分(①有効であった、②有効とは言えなかった)

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金実績額	本事業における重要業績評価指標(KPI)			事業終了後における実績値	達成率	事業効果(自己評価)	外部有識者の評価	
			単位:円	指標	指標値	単位	実績値			事業の評価	外部有識者からの意見
1	ヤビツ峠周辺観光拠点施設を核とした「森・里・観」連携事業の推進と地域ブランドの確立	【全体概要(目的)】 丹沢表尾根や大山の登山口であるとともに、ヒルクライムの聖地として多くの登山者やサイクリストに愛され、当市で最も多い年間約70万人の観光客が訪れる「ヤビツ峠」。ヤビツ峠周辺を対象に都市住民や訪日外国人等が余暇等を利用して、登山やヒルクライム、里地里山体験等のレクリエーションを満喫してもらうための観光拠点施設「(仮称)ヤビツ山荘」及び「森林セラピー基地」を整備し、ボランティア団体や民間企業を巻き込んだ、経済性のある持続可能な森林・里地里山・観光(森・里・観)の連携事業を展開することにより、交流人口の増加と市内消費を生み出し、地域所得の向上及び観光振興を図り、アウトドア活動やグリーンツーリズムが盛んな地域イメージを確立する。	5,446,950	森林セラピー基地等を活用した収益性のある体験プログラム数※増加分	2	件	2	100%	②相当程度効果的であった  (評価理由) 3年間の事業であり、事業の効果を検証できる段階に至っていないが、森林セラピーについては、一部実施し、ある程度の集客ができています。	①有効であった	・事業開始の初年度であるが、観光拠点施設や森林セラピー基地の認定に向けて着々と取組みが進められているため、引き続き事業の着実な推進を期待します。
				丹沢表尾根(ヤビツ)への年間観光客数※増加分	0	人	-	-			
				(仮称)ヤビツ山荘の年間利益額※増加分	0	円	-	-			
		【R1年度実績】 令和2年度供用開始に向け、観光拠点施設の設計を行った。また、森林セラピー基地認定申請を行い、認定を受けた(R2.4.21付)。さらには、観光拠点施設で販売する地域特産物や地域の特色ある飲食物の商品開発の検討をするとともに、森林セラピー基地等を活用した体験プログラムを実施した。	4,143,000	森林セラピー基地等を活用した収益性のある体験プログラム数※増加分	3	件	3	100%	②相当程度効果的であった  (評価理由) 3年間の事業であり、事業の効果を検証できる段階に至っていないが、森林セラピーについては、一部実施し、ある程度の集客ができています。		
				丹沢表尾根(ヤビツ)への年間観光客数※増加分	0	人	-	-			
				(仮称)ヤビツ山荘の年間利益額※増加分	0	円	-	-			
【R2年度計画】 観光拠点施設の工事発注を行い、備品・消耗品等の購入やPRを行うなど、運営体制を整備し、令和3年3月に供用開始する。同時に地域特産品の販売や特色のある飲食の提供を開始するとともに、森林セラピー基地等のグリーンツーリズム事業を本格的に実施する。また、インフルエンサー等を活用したシティブロモーションを実施し、アウトドアやグリーンツーリズムが盛んな地域ブランドを確立する。	44,236,000 (内示額)	森林セラピー基地等を活用した収益性のある体験プログラム数※増加分	5	件							
		丹沢表尾根(ヤビツ)への年間観光客数※増加分	11,190	人							
		(仮称)ヤビツ山荘の年間利益額※増加分	1,825,000	円							

説明資料の添付

No.	資料の名称	資料番号	(説明資料の添付について)
1	観光拠点施設の設計について	資料1-2	1. 事業概要(実績)に記載した内容(成果)がわかる資料を添付すること。 2. 可能な限り、案内図、位置図、イメージ図等を添付すること。 3. 説明資料(右上)には、左記に対応する資料番号を記載すること。
2	飲食物等の商品開発の検討及び体験プログラムの検討について	資料1-3	
3	パース図	資料1-4	
4	森林セラピー推進事業について	資料1-5	
5	森林セラピー基地及びロードについて	資料1-6	